広報 YATSUSHIRO

やつしろ

2005
3.1
NO.1359

娘の幸せを祈る気持ち
一間羽子板

昭和30年ごろまで、八代地域で女の子の初正月に贈られていた大羽子板です。その子が結婚するときには針箱などに作り直して持たせる習慣があったことから、羽子板の形ではほとんど残っていません。

今回、貴重な一間羽子板が２丁目商店街に展示されています。

城下町やつしろの
お雛祭り
3月13日まで開催

～特集～
九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業イベント